

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 2

H28. 5.10



今月のキーワード

英語の時間のきまり

コミュニケーションとしての英語

5月も半ばになりました。大型連休も終わり、これから学校行事も目白押しの中、授業も軌道に乗せていく大切な時期だと思います。4月、5月は1年間の授業の基礎を固める時期です。どの授業でも言えることですが、「学習のきまり」「英語の時間のきまり」を作り、先生方ならではの授業スタイルを作っていってほしいと思います。例えば、

ペア活動

1対1で対話しよう。 (← 発話量を確保するため)

インタビュー活動の場合、じゃんけんで勝った人から話し始めよう。

(← 時間を有効に活用するため)

話をするときには、互いの顔を見ながら話そう。話を聞く時は、相手の顔を見ながら相づちをしたり、分からない部分は聞き返したりしよう。

(← 円滑なコミュニケーションのため)



ペア活動ひとつを考えても、先生方が「何を意図してペア活動をするのか」「限られた授業時間をどのように効果的に使うか」を考えることが大切だと思います。ぜひ先生方の「こういう子どもを育てたい」という意図の下、子どもとの間でオリジナルルールを作り、授業内容を充実させていってください。先生方一人一人の指導の軸を作りましょう。

英語で授業

中学校では「英語による授業」が進められています。

中1の今の時期に、なるべく英語を使いながら授業を進めるためには、黒板に1時間の流れを日本語で板書し、英語で授業を進める方法も効果的ではないでしょうか。これもルール作りの一つとして考えられる方法です。

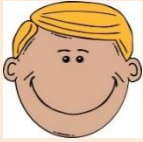
ある調査によると、Hi friends! を使った場合、小学校で触れた語彙の60%が中学校の教科書で出てくるそうです。小学校でやったことのある活動を、中学校で少し変化させてトライさせたり、聞いたことのある単語をうまく生かした会話活動を取り入れたりして、中学校入門期の指導をスムーズに乗り切りたいですね。





コミュニケーション手段としての英語

English as a tool for communication



A: Do you have a pen? 「ペンを持っていますか？」

B: Yes, I do. 「はい、持っています。」

この会話、文法的には間違いはありませんが、これ以外にも返事の仕方は考えられますね。



Do you have a pen? と言いたい状況を考えると・・・

例えば

- ① 何かメモをしたくて、書く物を持っていない場合
- ② 授業中、何もしない子どもに対して「ノートくらい取りなさい!」という意味を込めて先生が言う場合 としましょう。

そうすると ①は

Here you are.

②は **I' m sorry.**

などといった言葉が返ってくるでしょう。

また①でも、状況が変わると、言い方も違ってきます。

「持っているだろう」という予想のもとで聞く場合は Do you have a pen? でも、下がり口調になり、念を押す意味合いになります。また、大きな声を出せない状況（図書館など）での会話なら、ひそひそ話になるでしょう。

授業中、場面設定を考えることが多くあると思いますが、場面や状況の想定を少し工夫することで、児童生徒も「コミュニケーションとしての英語」を意識できるのではないのでしょうか。

中学校学習指導要解説2内容（2）言語活動の取り扱いにも
 「言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行わせること」とありますね。





ホット一息





どうして「たんぽぽ」は「dandelion」というのか不思議に思って調べてみたら・・・dan=tooth de=of という語源で、「ライオンの歯」っていう意味なんだって。確かにたんぽぽの葉っぱはライオンの歯みたいだ！英語の発想っておもしろい☆

